

国道２４６号バイパスのお知らせ

１ 国事業の進捗状況等

- (１) 計画概要
- (２) 用地買収（西大竹地区）の状況
- (３) 水文（かんがい用水系統）調査の状況
- (４) 厚木・伊勢原区間の進捗状況

２ 市の取り組み内容

- (１) 広報はだの特集号の発行
- (２) ２４６号バイパス通信の発行

３ その他のお知らせ

- (１) 市民の日における国道２４６号バイパスのＰＲブースの設置
- (２) 新東名高速道路開通後の国道２４６号などの交通量の状況
- (３) 国関係機関への要望活動の実施

厚木秦野道路(国道246号バイパス)の計画概要

○厚木秦野道路とは

厚木秦野道路は、一般国道246号のバイパスとして、厚木市中依知～秦野市八沢を結ぶ延長29.1kmの自動車専用道路です。

○事業経緯

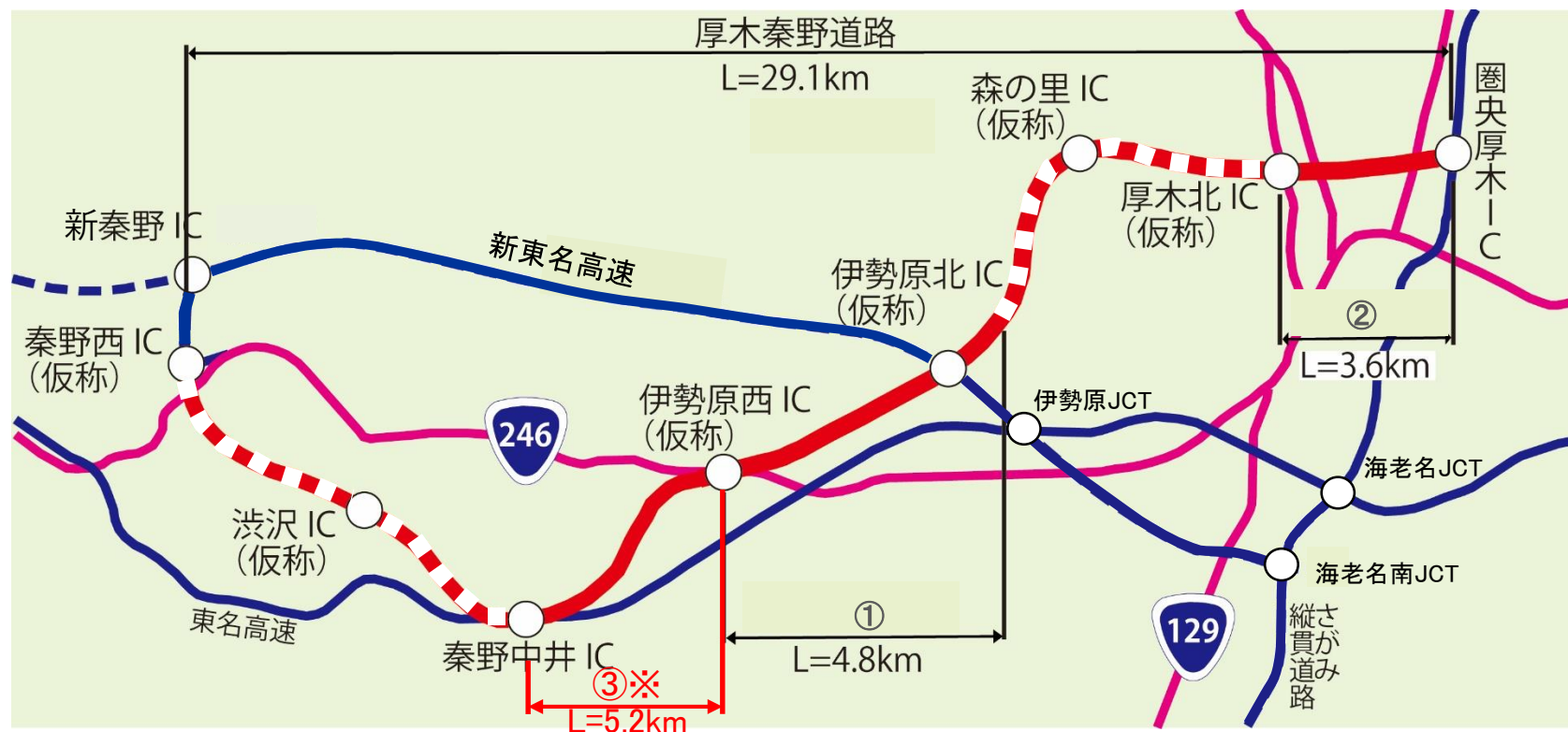
平成8年6月 都市計画決定

平成10年度 ① 事業化(伊勢原北IC～伊勢原西IC間 4.1km)

平成13年度 ② 事業化(圏央厚木IC～厚木北IC間 3.6km)

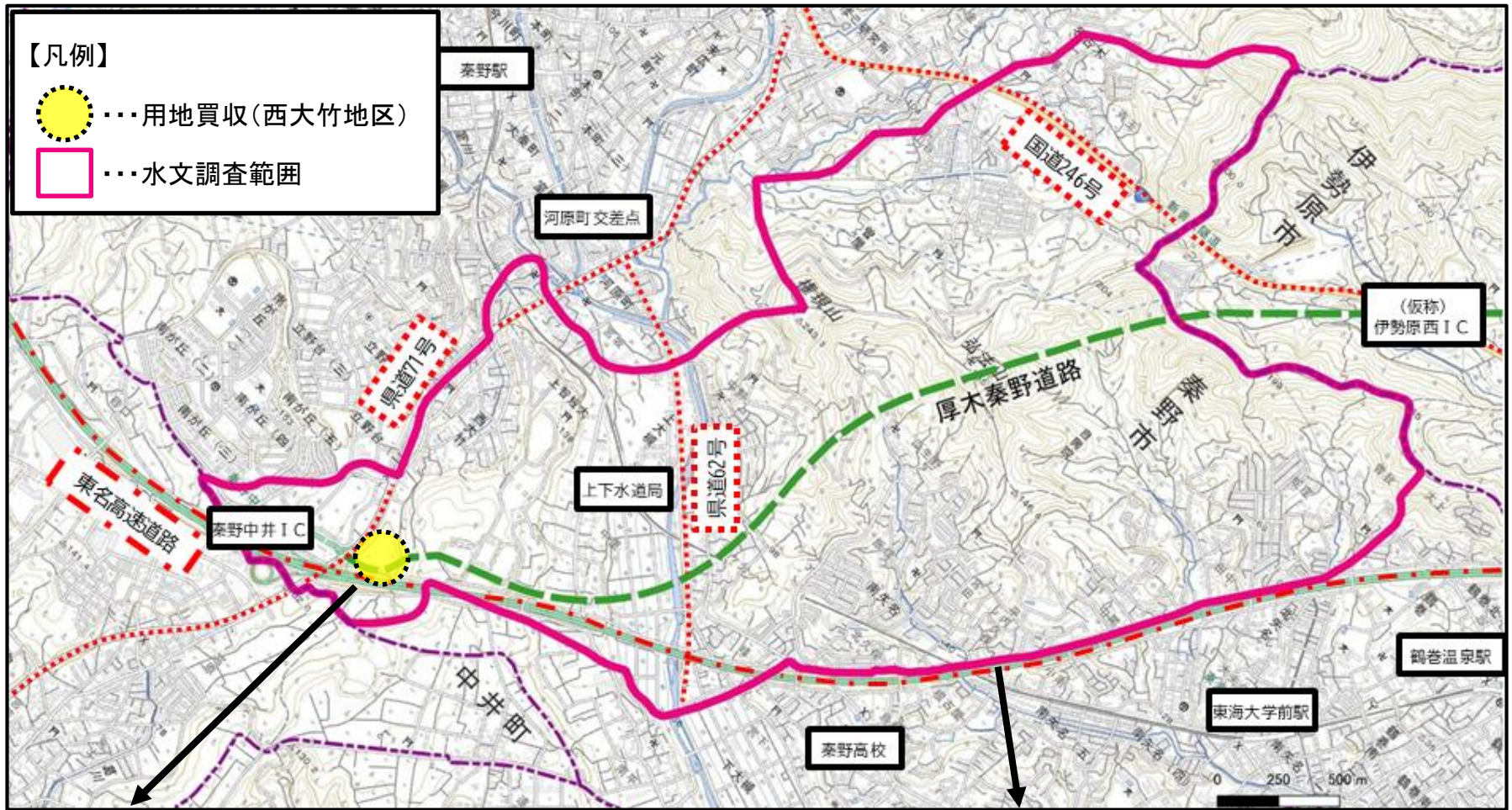
平成14年度 ① 事業区間延伸(伊勢原市西富岡～伊勢原北IC間 0.7km)

平成26年度 ③ 事業化(伊勢原西IC～秦野中井IC間 5.2km)



※伊勢原市域L=1.5km、秦野市域L=3.7km

令和5年度の進捗状況(秦野市区間)



買収された土地の管理状況

令和4年度より本格的な用地買収が開始されており、令和5年度も昨年に引き続き、西大竹地区での用地買収が進められています。

※令和4年度末時点の用地買収率・・・7%

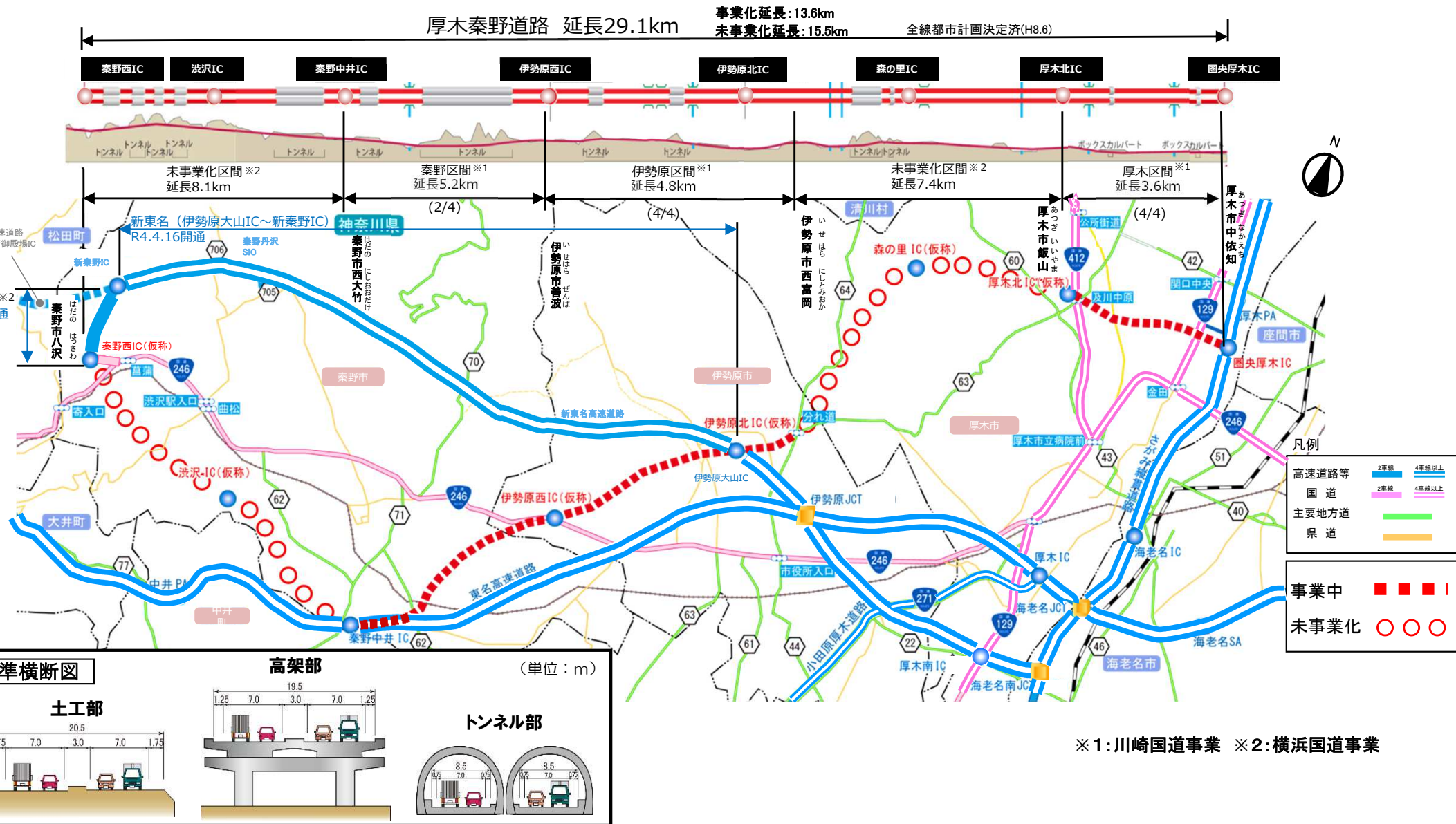


現地踏査の様子

田畑を潤すために必要なかんがい用水について、本年7～8月に水路系統の詳細確認、あわせて河川や湧水箇所などを確認するための現地踏査が実施されました。

国道246号 厚木秦野道路の事業概要

- ・厚木秦野道路は246号のバイパスとして、圏央地域の広域的なネットワークを形成する道路 であり、全体計画延長L=29.1kmのうち、L=13.6kmが事業中。
- ・R5年度は、事業区間(伊勢原区間)にて、トンネル工事に着手予定。



国道246号 厚木秦野道路(厚木区間)

・厚木秦野道路(厚木区間)

R5年度予定:調査設計、用地買収、埋蔵文化財調査、改良工、橋梁下部工

至 伊勢原



(R5年2月撮影)

至 厚木

厚木BP橋下部工事着手予定箇所



(R5年2月撮影)

中津川橋P1, P2橋脚



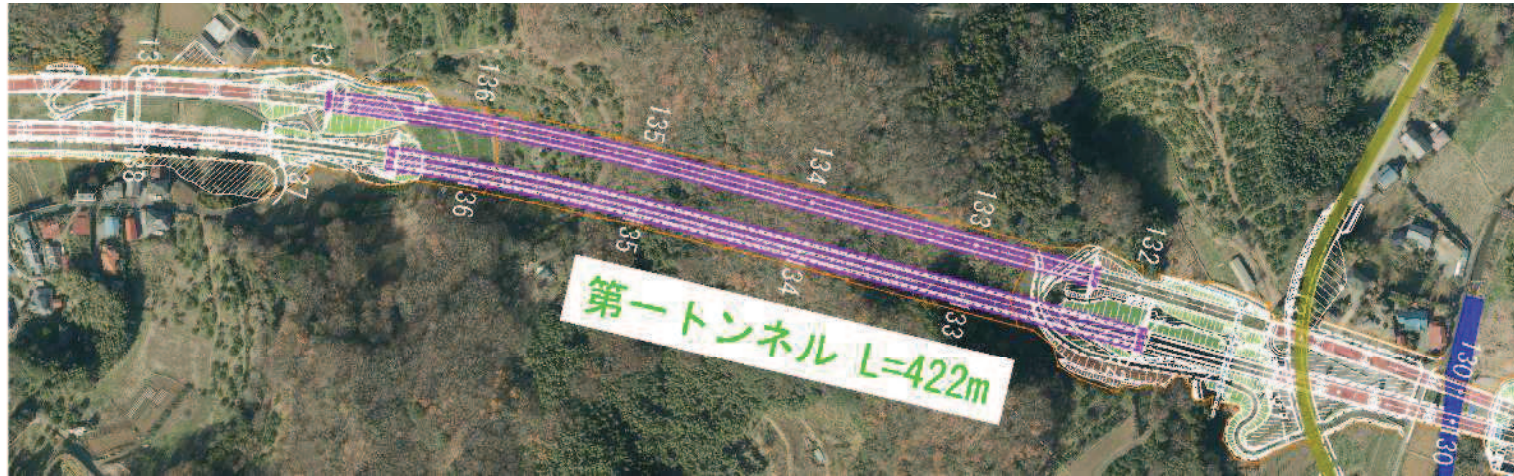
(R5年3月撮影)

国道246号 厚木秦野道路(伊勢原区間)

・厚木秦野道路(伊勢原区間)

R5年度予定:調査設計、用地買収、埋蔵文化財調査、改良工
伊勢原第一トンネル工事着手

至 秦野



至 厚木



(R5年2月撮影)



(R5年3月撮影) 24



新東名高速道路

新東名高速道路は海老名市から愛知県豊田市に至る延長約253kmの高速自動車国道です。
令和4年4月の待望の開通(注)から1年半が経過し、利用者からは利便性を実感する声が続々と届いています。
開通後の利用状況や利用促進に向けた取り組み、全線開通に向けた工事の状況についてお知らせします。
(注：伊勢原大山ICから新秦野ICまでの部分開通)



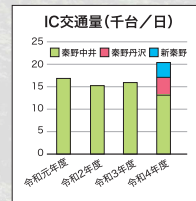
秦野丹沢スマートIC (秦野市戸川および横野)

県立秦野戸川公園や工業団地と近く、全線開通前にもかかわらず1日当たり4,000台を超える利用があります。

注) 本紙記載の用語
IC……インターチェンジ
SA……サービスエリア
JCT……ジャンクション
名称には仮称のものを含まれます。

市内のIC利用者が増加

現東名(秦野中井IC)から新東名(秦野丹沢スマートIC、新秦野IC)への転換がみられます。



中日本高速道路株式会社提供(撮影:令和5年9月)



全線開通に向けて

令和9年度の開通に向けて、懸命な建設工事が進められています。

中津川橋・高松トンネル(松田町)

松田町と山北町を結ぶ高松トンネル(写真:左上)は軟弱な地山、断層により掘り進めることが難しく、地山に適した対策を行いながら慎重に工事が進められています。

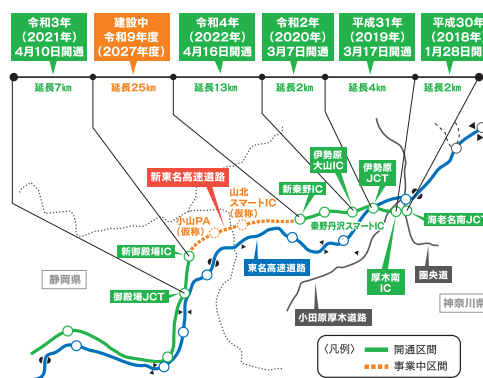
中日本高速道路株式会社提供(撮影:令和5年9月)

神奈川県内 最難関工事の状況

中日本高速道路株式が進める新秦野ICから新御殿場ICの急峻な山岳部の最難関工事の状況について、動画(YouTube)が公開されています。ぜひご覧ください。



待たれる全線開通〈開通予定時期〉



市民の日 PRブース出展



昨年の様子

11月3日(金)にカルチャーパークで開催される市民の日において、新東名や裏面で紹介する厚木秦野道路(国道246号バイパス)のPRブースを出展します。

パネル展示やVRによる工事の様子などが体験できます。ぜひお越しください。

利用者の声

市民(菩提在住)

今までは、高速道路に乗るまでに、30分程度かけて秦野中井ICまで行く必要がありましたが、秦野丹沢スマートICができたおかげで5分程度になり、市街地の混雑している道を通らずに済むので非常に便利になりました。



工業団地内企業

これまでは現東名主体で製品の運搬を行っていましたが、新東名が工業団地の近くにできたおかげで、大型車両でも安全に走行することができ、さらに運送時間も短くなりました。静岡方面にも取り引き顧客が多いため、1日も早い全線開通を期待しています。

利用促進に向けた本市の取り組み

秦野丹沢スマートICへの円滑な誘導のため、市内の幹線道路やスマートIC周辺に整備されたアクセス道路を中心に計32カ所へ案内標識を設置するなど、利用促進に向けた取り組みを行っています。



案内標識

令和5年7月24日に開催された圏央道・新東名等整備促進大会において、高橋市長が沿線自治体を代表し、1日も早い全線開通に向けた決議文を読み上げました。

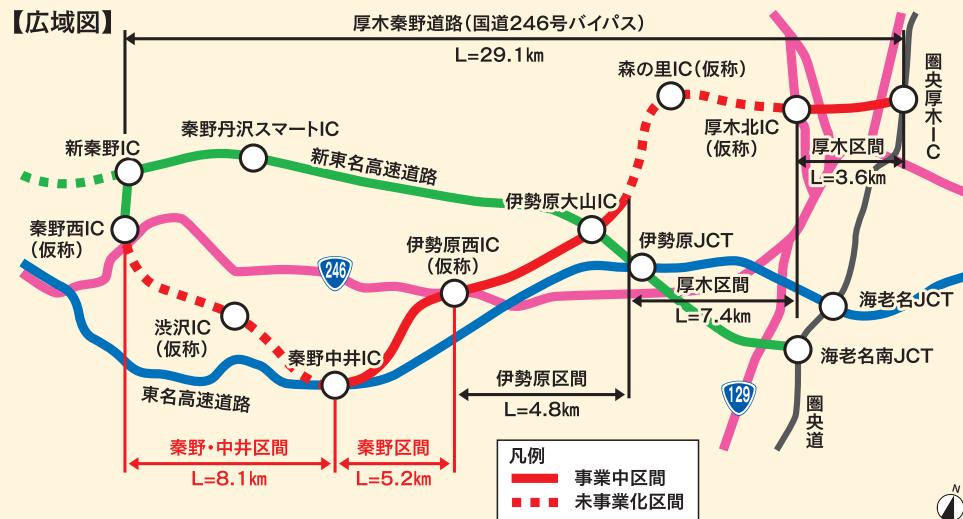
また、昨年4月に開通して以降、市民や企業から利便性向上を実感する声が届いていることや、スマートIC周辺の拠点整備や観光資源を生かした魅力向上に向けた市の取り組みについても紹介しました。



決議文を朗読する高橋市長

厚木秦野道路(国道246号バイパス)

厚木秦野道路(国道246号バイパス)は、厚木市から秦野市へ至る、延長約29kmの自動車専用道路です。本市域内における事業の歩みや進ちょく状況、早期の全線整備に向けた取り組みをお知らせします。



期待される整備効果

渋滞の緩和

- 国道246号の渋滞緩和により交通がスムーズになります。
- 沿線の環境改善に貢献します。

生活道路の機能改善

- 市内の生活道路を抜け道として走行する車両が減少します。
- 安全で静かな環境に寄与します。

時間短縮・地域間交流

- 新東名高速道路などと連結し、アクセス性が向上します。
- 地域間の交流、連携の強化が期待されます。

市内の状況

事業中区間 (伊勢原西IC(仮称)～秦野中井IC)

西大竹地区で用地買収が進められているほか、建設工事によって地下水位や水質への影響が想定される範囲における井戸などの水文調査が行われています。

水文調査は、本市が豊富な地下水を蓄えており、生活用水などで多くの人がその地下水を使用していることから、とても大切な調査です。



調査の様子

本市の取り組み 関係機関への要望活動

早期の全線整備に向けて、沿線および隣接自治体で組織する「国道246号バイパス建設促進協議会」において、国土交通省や財務省など関係機関に対し、年2回の要望を行っています。



財務大臣に説明する
高橋市長

事業の歩み

平成4年11月
平成8年6月
平成26年4月

基本ルート公表
都市計画決定
事業化(伊勢原西IC(仮称)～秦野中井IC)

令和2年10～11月
令和3年9月
令和4年9月
令和5年

設計・用地説明会開催
用地測量実施(西大竹地区)
事業範囲を示す幅杭設置
用地買収着手(西大竹地区)
水文(井戸など)調査実施

現在も継続

沿線地区・自治会への事業説明

令和5年5月、事業中区間の進ちょくや予定をお知らせするため、沿道地区(本町・南・大根)の代表者などに対する説明を行いました。また、令和4年度から進ちょく状況をお知らせする「246バイパス通信」を発行し、関係する自治会への定期的な情報提供に努めています。



事業説明の様子

市ホームページもご覧ください

事業の概要や「246バイパス通信」のバックナンバーをご覧ください。



246バイパス通信 (vol.5)

令和5年9月 発行

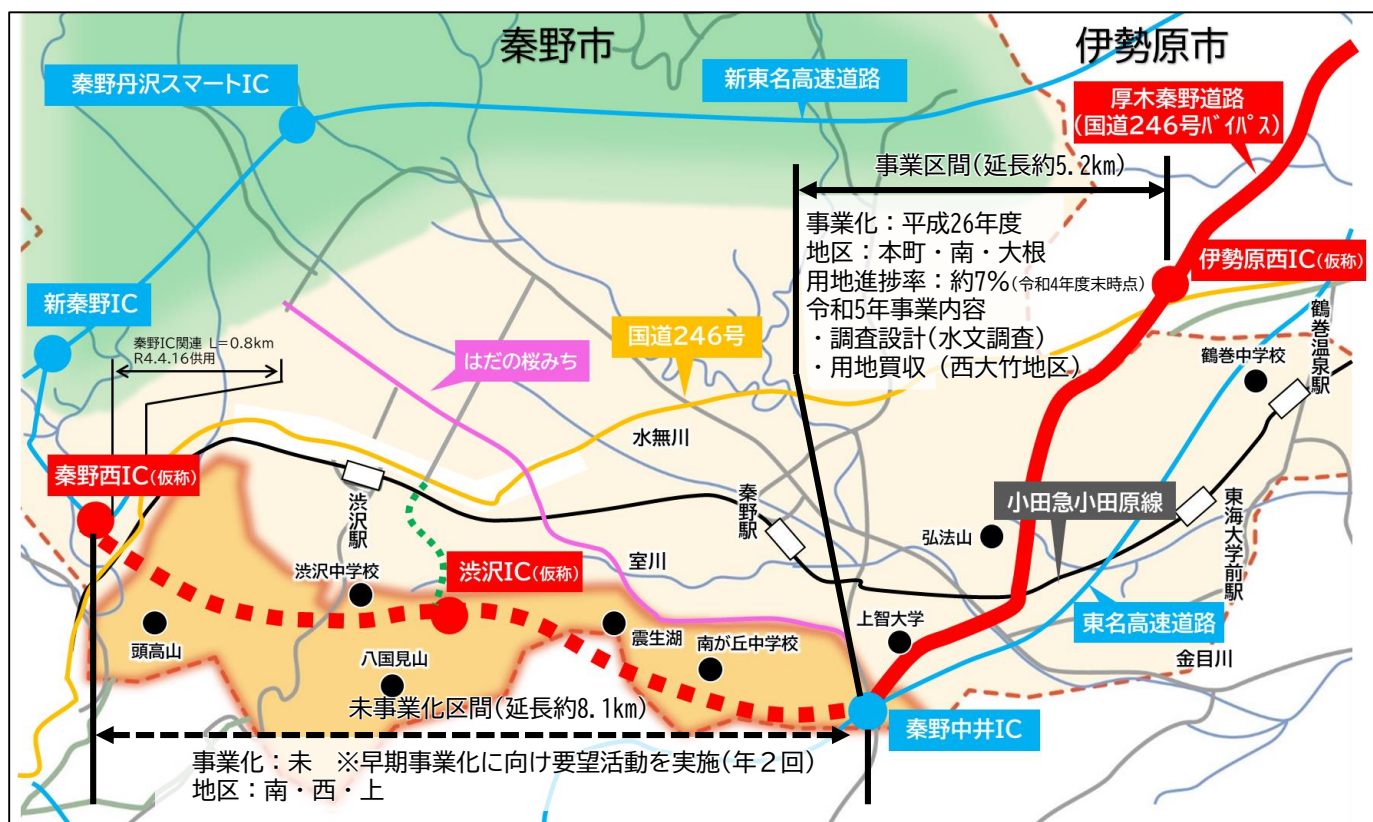
発行元 秦野市 建設部 国県事業推進課

TEL 0463-82-5746

Mail kuniken@city.hadano.kanagawa.jp

秦野市内の厚木秦野道路(国道246号バイパス) 事業区間のうち伊勢原市善波から秦野市西大竹までの進捗状況をお知らせします。

市内の計画位置と事業進捗



本市ホームページをご覧ください。

国道246号バイパス事業について、次の内容をご確認いただけます。是非ご覧ください。

◎ 国道246号バイパス事業概要

◎ 「246バイパス通信」バックナンバー など

※ 事業区間の図面を国県事業推進課にて閲覧できます。ご希望される方は、同課までご連絡ください。

なお、閲覧のみでコピーや写真撮影は出来ませんのでご注意ください。

《本市HP》



《うら面に続きます》



すいもん

水文調査の進捗状況をお知らせします。

■ 水文調査ってなに？

国道246号バイパス沿線の河川や湧水、井戸などの状況（水量や水質、利用状況など）を調べます。建設工事の開始前に調査を行うことで、工事による影響を把握することができます。

本市は豊富な地下水を蓄えており、生活用水や耕作などで多くの人がある地下水を使用していることから、とても大切な調査です。

■ かんがい用水系統確認のための現地調査が完了しました。



令和5年7月 調査の様子

田畑を潤すために必要なかんがい用水について、本年7～8月に水路系統の詳細確認、あわせて河川や湧水箇所などを確認するための現地踏査を実施しました。

御協力いただきました地域の皆様、ありがとうございました。

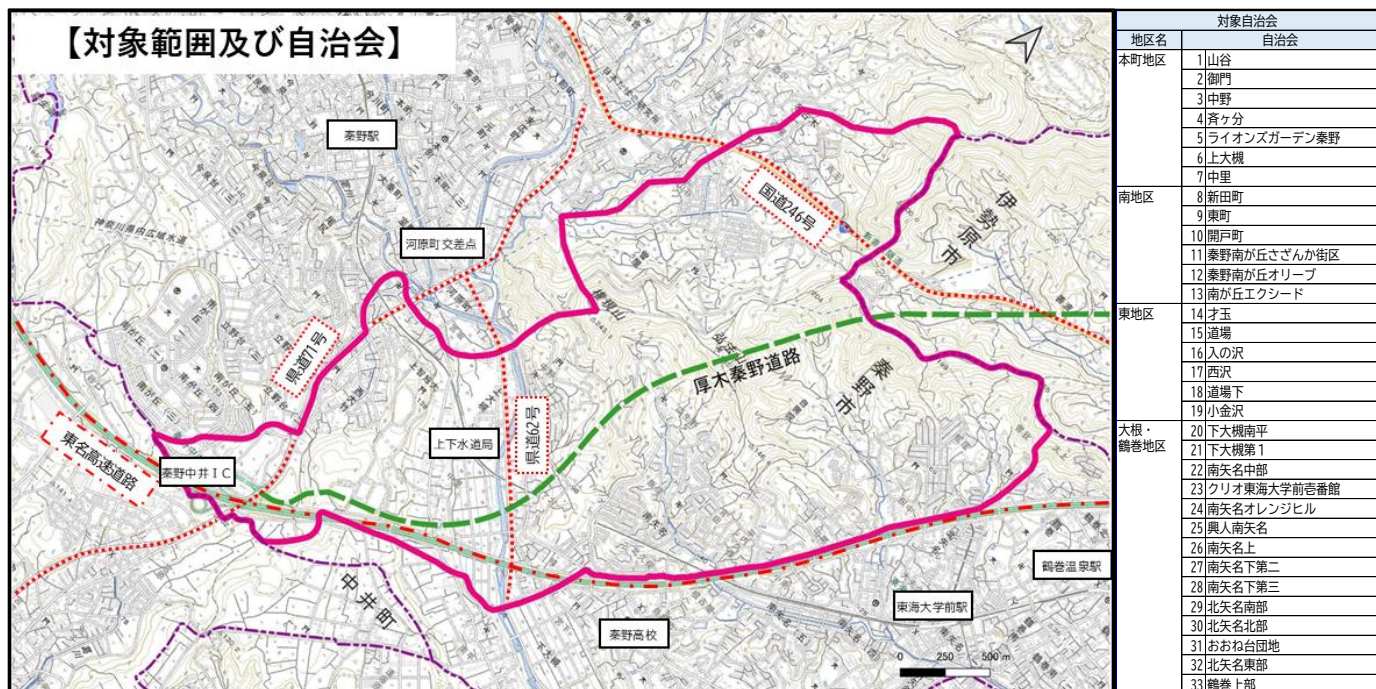
今後も工事着手まで定期的に調査を実施する予定です。

■ 井戸を所有されている皆様へ！ 調査漏れはありませんか？

令和4年度に実施された調査は井戸を所有されている方で本市に届出をされている方が対象となっています。

次の「水文（井戸）調査範囲及び対象地自治会」をご確認いただき「井戸があるのに調査に来なかった」等がございましたら国県事業推進課までご相談下さい。

《令和4年度 水文（井戸）調査範囲及び対象地自治会》



市民の日における国道246号バイパスのPRブースの設置

11月3日にカルチャーパークで開催された市民の日のイベントにおいて、国道246号バイパスの事業について、多くの市民にお知らせをするために、川崎国道事務所と横浜国道事務所の協力のもと、PRブースを設置しました。

当日は多くの方々にお越しいただいたことで、国道246号バイパスの事業についてお知らせすることができました。

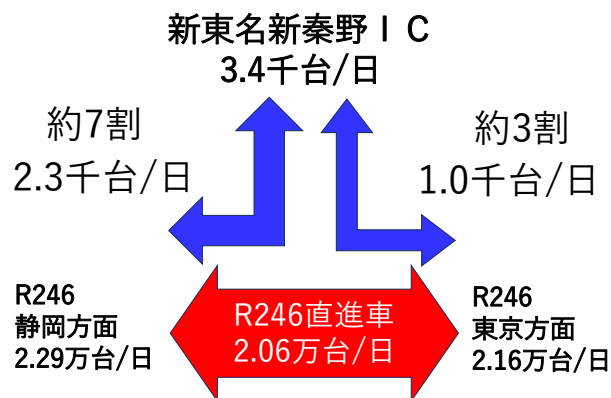


1 国道246号(仮)秦野西ICの利用状況

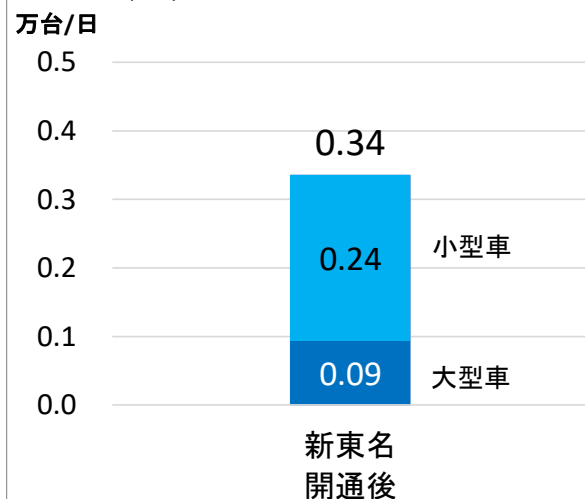
新東名・新秦野ICに接続する国道246号(仮)秦野西ICの利用交通量は1日あたり3.4千台で、約7割が静岡方面との交通となっています。

(仮) 秦野西ICの高速道路利用交通量

(仮)秦野西ICの方向別交通量



(仮)秦野西ICの車種別交通量



開通後令和5年4月13日(木)調査

新東名 伊勢原大山IC～新秦野IC 令和4年4月16日開通



撮影場所:(仮)秦野西IC付近(撮影日:令和5年5月30日(火))

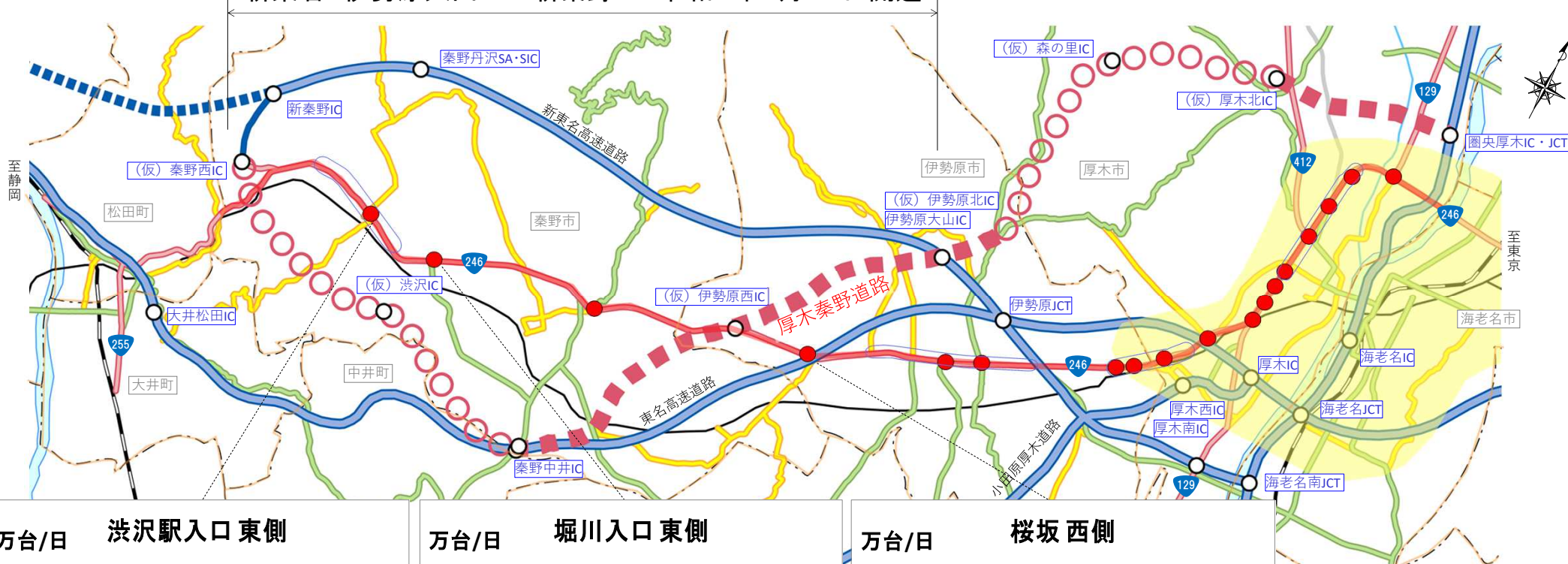
凡 例 (主要渋滞箇所)	
●	R246主要渋滞箇所(箇所)
○	R246主要渋滞箇所(区間)
■	主要渋滞箇所(エリア)

凡 例	
...	事業中 区間
...	未事業化 区間
...	高 速 道 路
...	高 速 道 路 (事業中 区間)
...	国 道
...	主 要 地 方 道 路

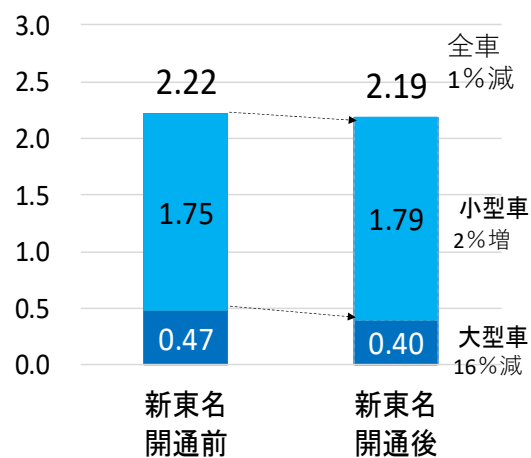
2 国道246号の利用交通量の変化

新東名開通後、国道246号秦野市内でみると、大型車交通量が減少傾向となっています。
(なお全車種計では大きな変化はみられません。)

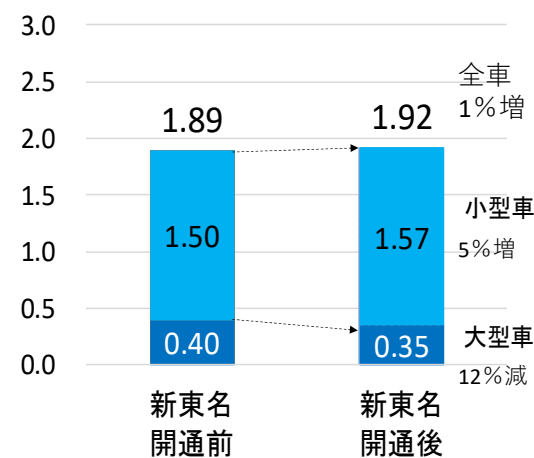
新東名 伊勢原大山IC～新秦野IC 令和4年4月16日開通



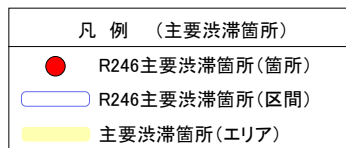
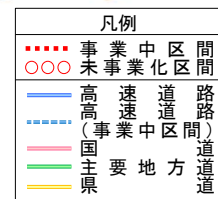
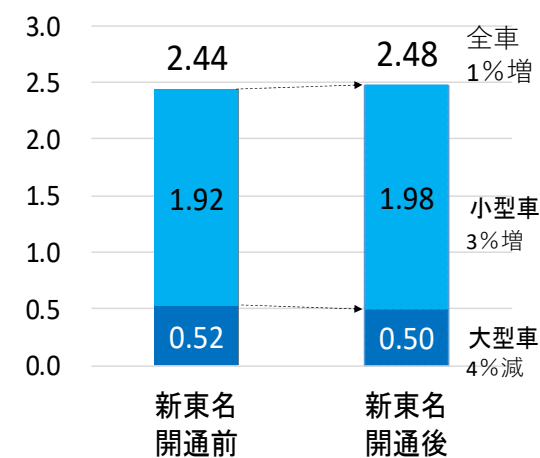
万台/日 渋沢駅入口 東側



万台/日 堀川入口 東側



万台/日 桜坂 西側

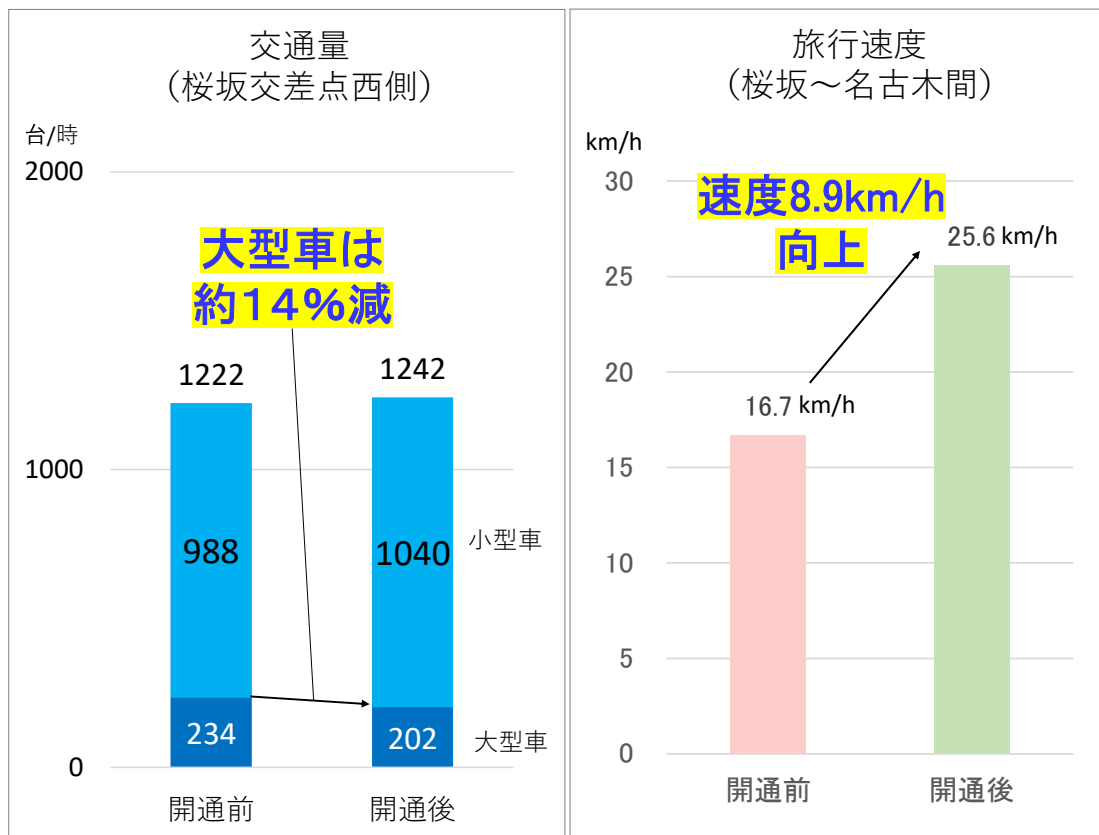


開通前令和4年1月18日(火)調査
開通後令和5年4月13日(木)調査

大型車の減少により善波付近の急勾配区間でピーク時速度が向上

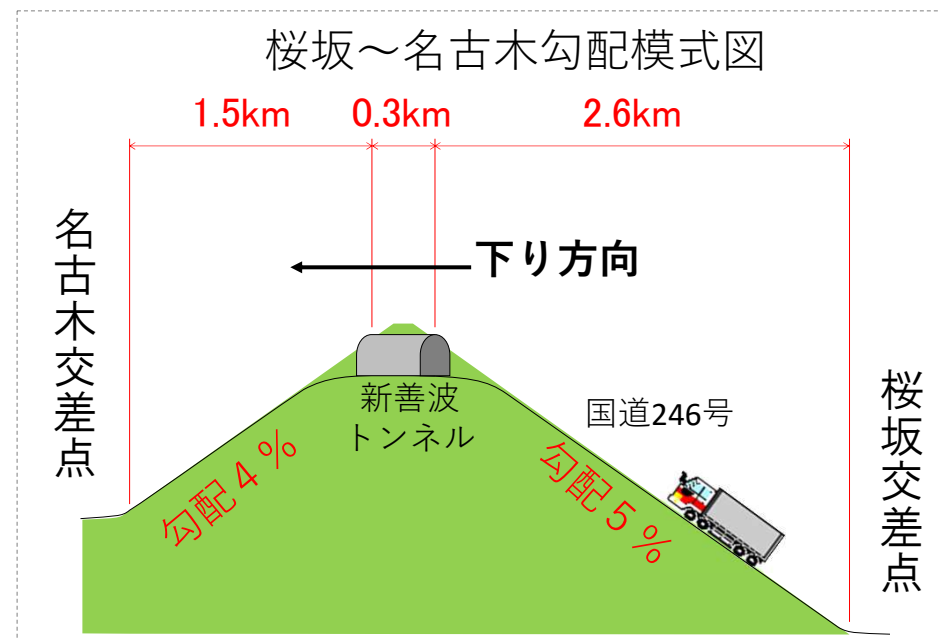
国道246号善波付近では上り勾配によりピーク時を中心に速度低下が発生していましたが、新東名開通に伴う大型車の減少により、下り朝ピーク時で速度向上がみられています。

国道246号下り朝ピーク時（7～9時）の交通状況変化



資料：交通量調査結果
開通前 令和4年1月18日(火)
開通後 令和5年4月13日(木)

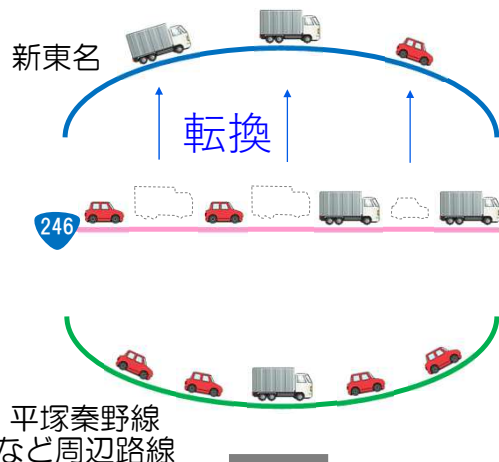
資料：ETC2.0プローブデータ
開通前 令和3年1月～12月平日
開通後 令和4年10月～令和5年3月平日



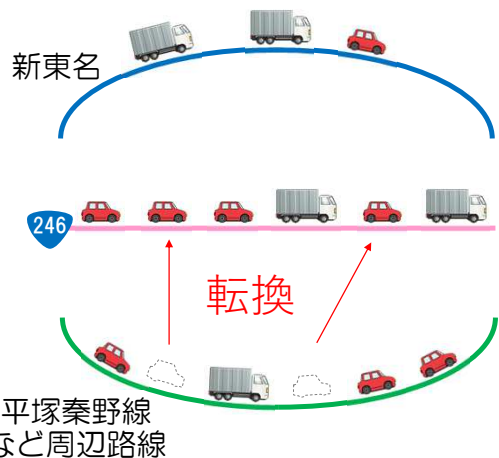
国道246号を利用していた大型車などが新東名に転換したことで、周辺道路の交通が国道246号に転換。その結果国道246号の交通量に大きな変化はみられないものの、周辺道路で混雑緩和がみられています。

周辺道路の混雑緩和例（平塚秦野線）

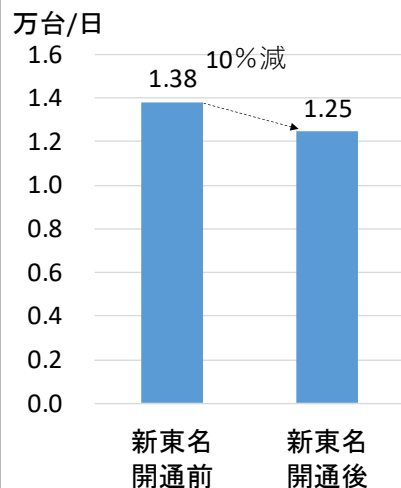
①国道246号を利用していた大型車など(の一部)が新東名に転換



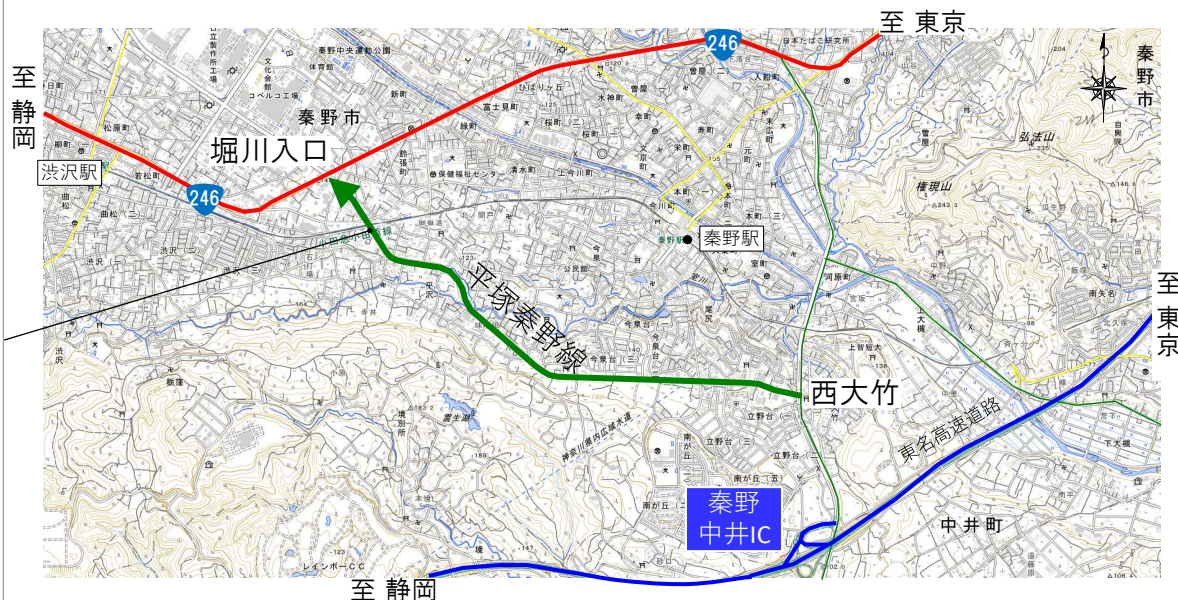
②周辺道路の交通(の一部)が国道246号に転換



平塚秦野線の交通量
(堀川入口付近)



開通前：令和4年1月18日(火)調査
開通後：令和5年4月13日(木)調査



【平塚秦野線（西行）西大竹～堀川入口の所要時間（朝ピーク〔8時台〕）】

堀川入口交差点
(秦野市)

開通前



約12分

平均速度18.0km/h

開通後

開通前より
約3分短縮



約9分

平均速度22.6km/h

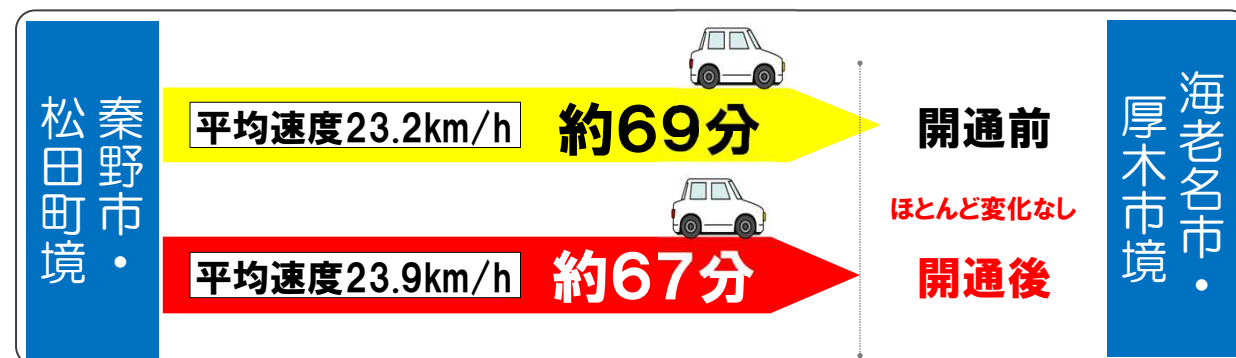
西大竹交差点
(秦野市)

5 国道246号の旅行速度の変化

国道246号では、新東名開通前後で局所的な変化はあるものの、全体として旅行速度に大きな変化はみられておりません。

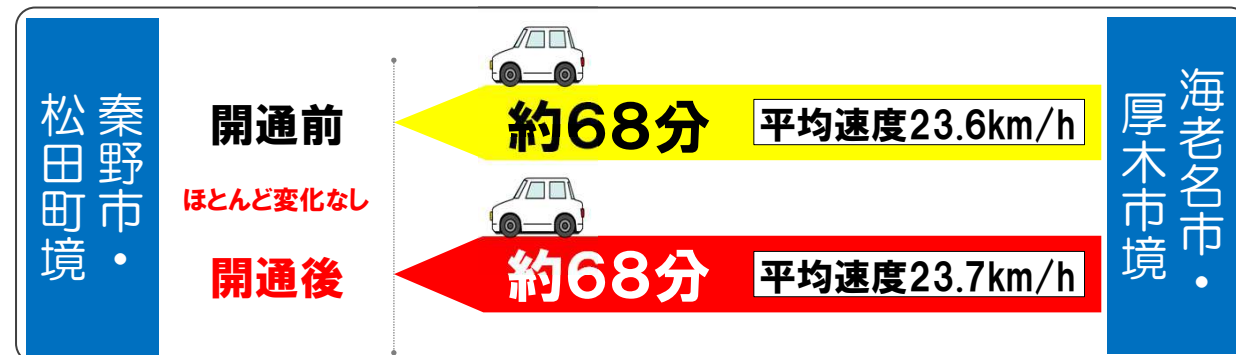


【国道246号(上り) 秦野市・松田町境～海老名市・厚木市境の所要時間(12時間平均)】



撮影場所：R246厚木市妻田西付近(撮影日：2022年5月20日)

【国道246号(下り) 秦野市・松田町境～海老名市・厚木市境の所要時間(12時間平均)】



資料：ETC2.0プローブデータ 開通前 令和3年1月～12月平日 開通後 令和4年10月～令和5年3月平日

国関係機関に対する国道246号バイパス整備促進の要望活動

毎年夏季と秋季に、本市を含めた国道246号バイパスの沿線自治体や隣接自治体で組織する「国道246号バイパス建設促進協議会」で、国関係機関（国土交通省・財務省）への要望活動を行っています。



財務大臣に説明する
秦野市長



財務大臣への
要望書の手交



国土交通省
関東地方整備局への
要望書の手交